

「道徳科は必要ですか？」 ⑤

- 道徳性のめばえ(続)
- 道徳科授業

<https://ouaharoprof.xsrv.jp/info5>

道徳教育(道徳科)の必要性

-道徳性の発達という視点から-

『子どもの社会的な心の発達』 林 創 金子書房

道徳性のめばえ

『他者の心の理解のめばえ』

養育者と自分と対象の関係
(視線や指差しの理解)

○ありえないこと・新しいもの → 注視
(二項関係)



○共同注意 (三項関係) → 生後9ヶ月
自分と他者の認識が同じか違うかに気づく

- ・ 社会性やコミュニケーションの発達にとって決定的に重要
- ・ 共同注意の有無による ことばの学習 (共同注意を伴う反応の繰り返し)

『他者の心の理解のめばえ』

1歳～1歳半

共同注意の有無によることばの学習

①



アイスクャンデーだよ、
冷たいよ、甘いよ、
おいしいよ。

②



アイスクャンデー
食べておきなさい。

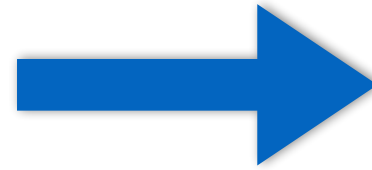
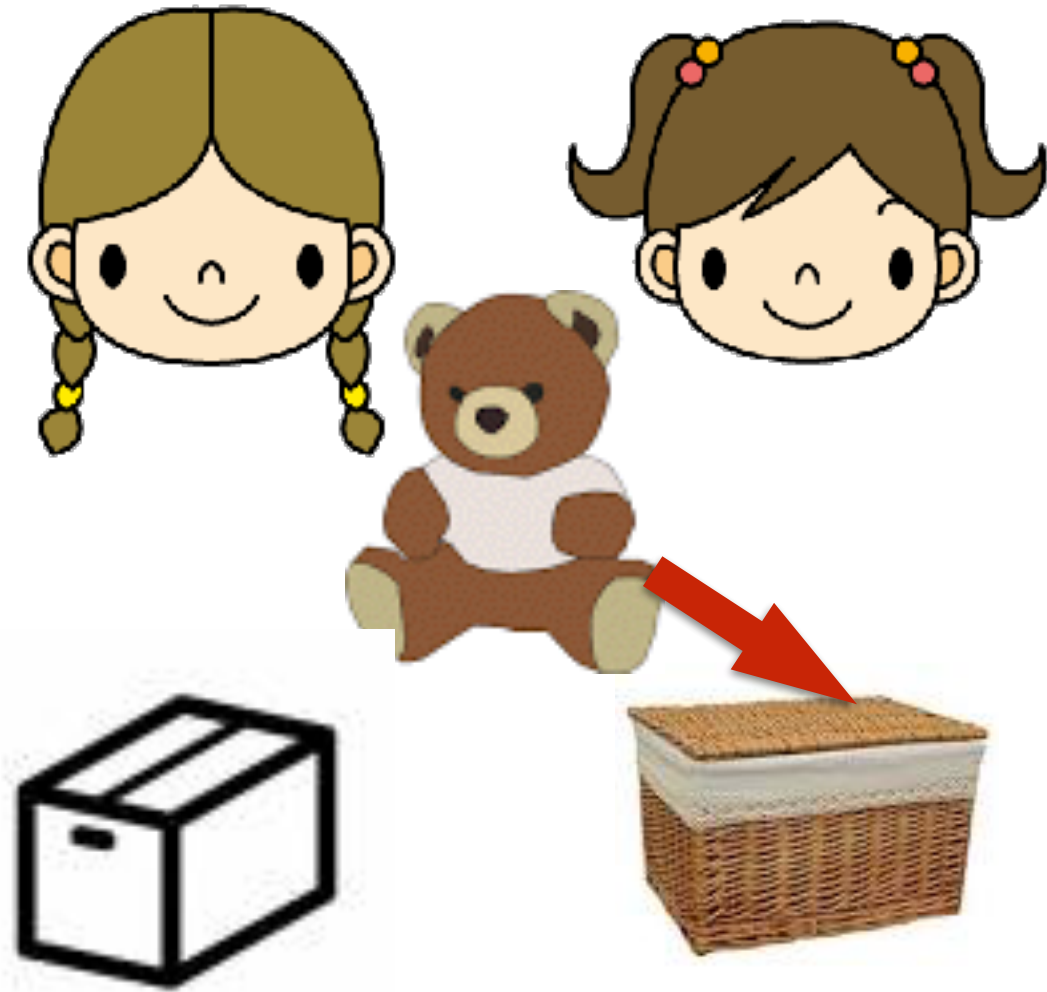
共同注意のない条件の状況が街中にあふれている。
スマートフォンに夢中になっている養育者の姿。

(発達障害)

まり

ちか

『他者の心の理解のめばえ』

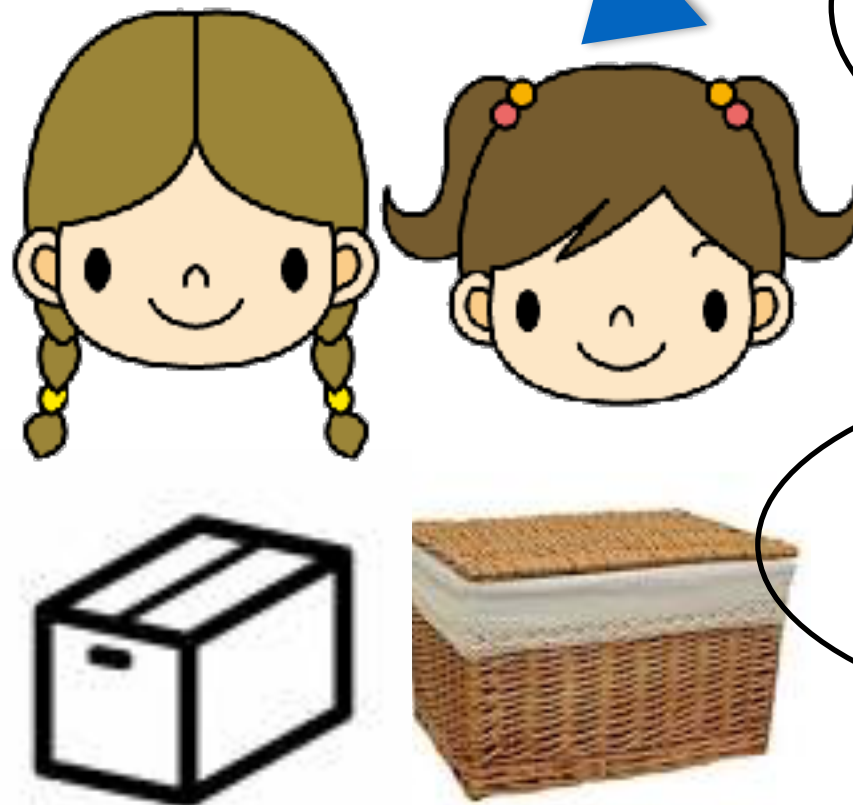


間違ってしまいそうな人に
『箱にあるよ』って教えて
あげて! ①

「心の発達」を調べる!

① 「助っ人課題」 3歳
(自分の知識を伝える)

② 「誤信念課題」 4～5歳
(他者の心の状態を理解)



まりちゃんは、おもちゃが
どこにあると思っている
かな? ②

心の理論の発達

4～5歳児

誤信念課題

女の子(まりちゃん)はおもちゃがどこにあると思っているかな？

3歳児

助っ人問題

間違ってしまいそうな人を選んで、『箱にあるよ』っておしえてあげて



○自分の知識を伝達することによって他者を助けるという社会的な状況が与えられていると、3歳児でも「知識がなければ間違ってしまう人」を選ぶことができる。



◎誤信念を抱いている人を選ぶことができる(4～5歳児)。

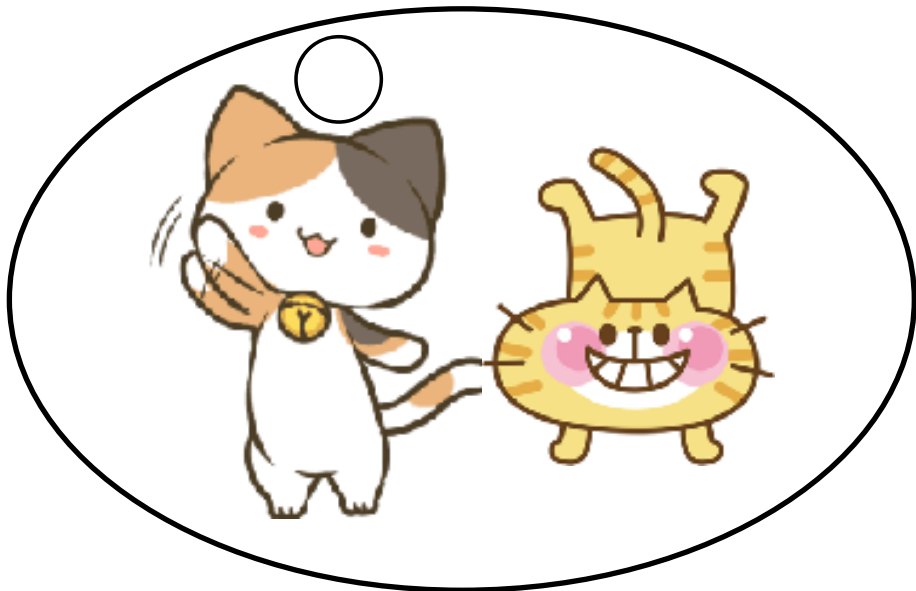


目に見えない他者の心の存在にはっきりと気づき始める
『**幼児期**』

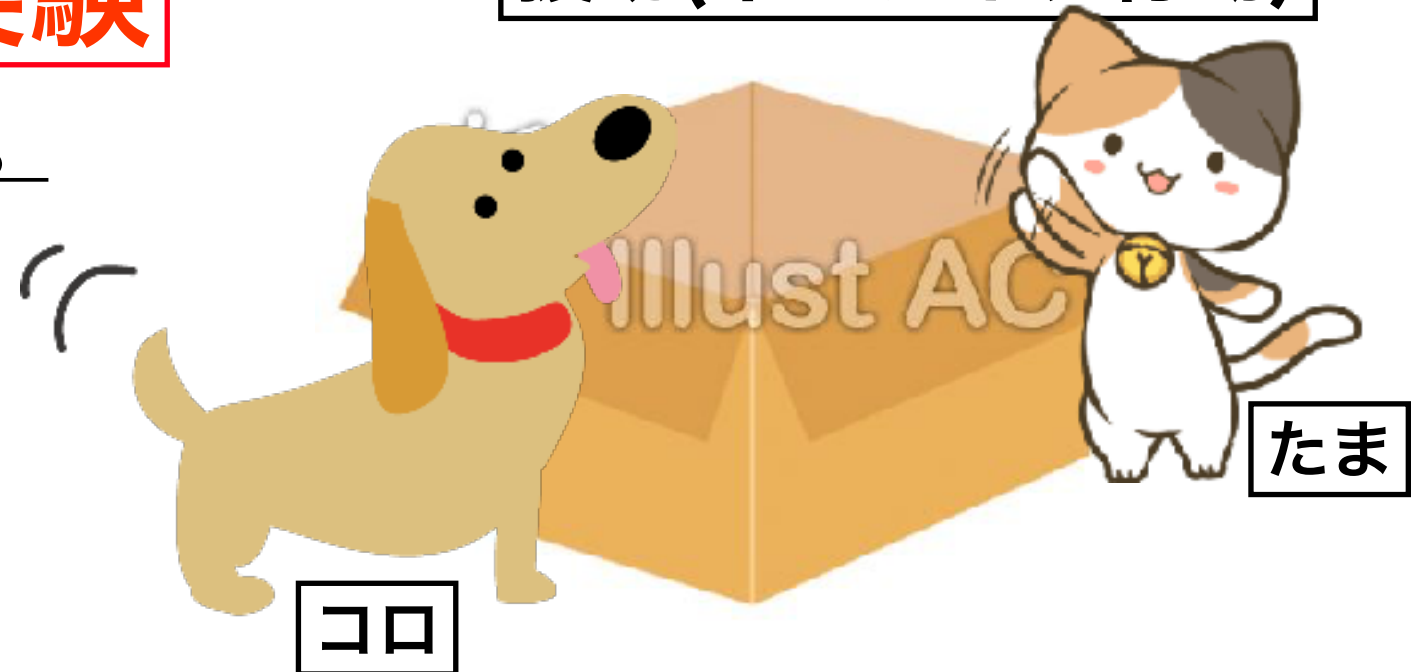
『道徳的感受性』の実験

※実験はぬいぐるみでされました。

5ヶ月の赤ちゃん



援助(ポジティブ行動)



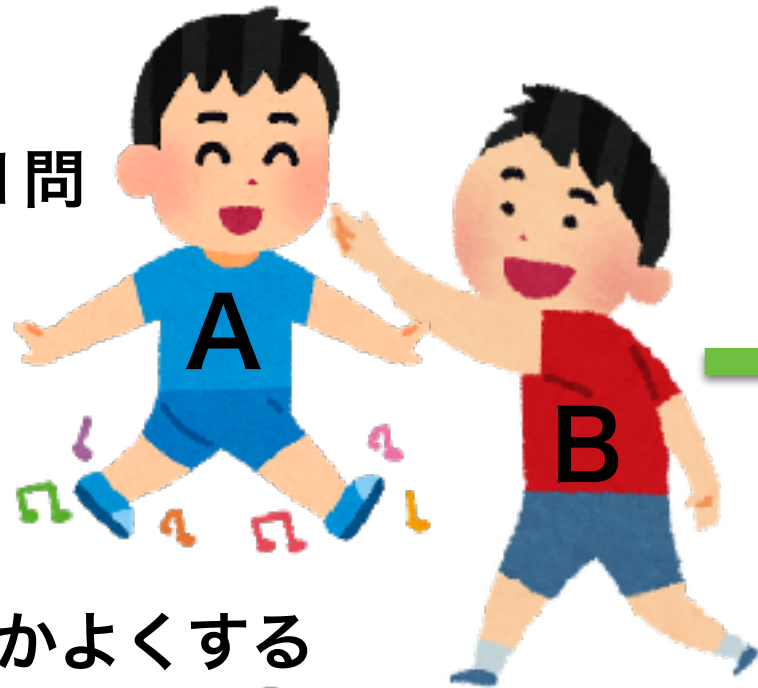
妨害(ネガティブ行動)



人は生後1年以内に、他者の第三者に対する
好社会的/反社会的行為に対して評価ができる

なかよくする

第1問

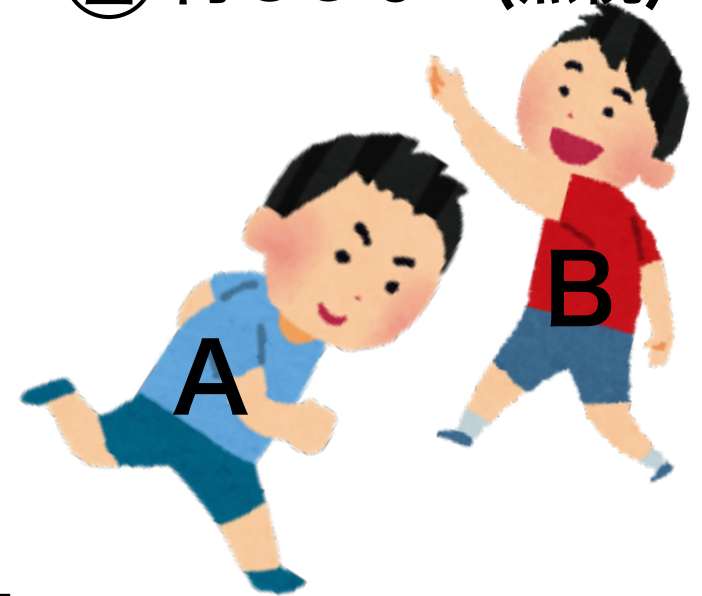


① なかよくする



なかよくしているのは、変だなあ

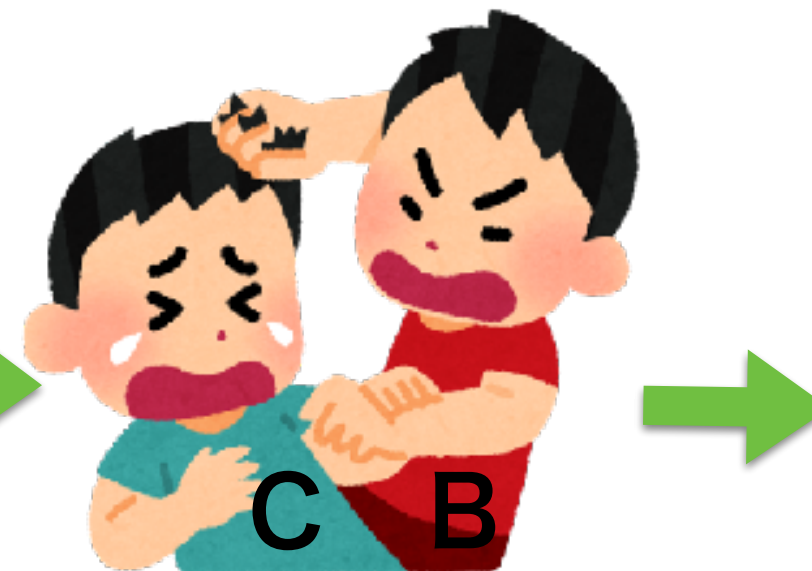
② 何もしない(無視)



今まで通り

なかよくしないのは、変だなあ

第2問



13ヶ月児



※実験はぬいぐるみでされました。

※変だな、不思議だなと感じたことをじっと見る(注視)。

○道徳性の発達という視点から子どもの行動を考える

○発達心理学

- ・ 生後1歳半頃、「援助」「同情」「公平」の萌芽が見られる。
- ・ **直感的に判断し、「他者を助けたい」「他者に教えたい」と強く動機付けられる。**
- ・ **生まれながらにして、苦境にある他者に対して原初的な同情的態度をとるという可能性が高い**

「心の発達」と「道徳的判断」

◎道徳性の育成は必要か

- ・人間は道徳的な感受性、およびそのような処理をするメカニズムを生得的にもって生まれる。

しかし、その後、何もない状態では、そのメカニズムは適切に発達しない。生後に受ける教育や文化の影響によって、さらに道徳的感受性(他者を気遣う時に向ける純粋な関心)、道徳性(人間らしいよさ)が開花していく。

○裁判、裁判員制度は、時間をかけて理性的な判断をすることが求められる。

- ・人間は、まず直感的な判断があり、その後、理性的に考え(正当化する道徳的な理由づけが生み出され)、行動をコントロールできる。

○道徳の授業で指導が可能なこと

- ・理性的に考えることの大切さを指導することができる。
(多様な見方、感じ方、考え方)
- ・「道徳性(判断力)」は学習されるものである。



学校で道徳教育 「要(かなめ)」

道徳科

「特別の教科 道徳」

「補充」 「深化」 「統合」

道徳的な視点から
自らのものの見方・考え方を
見つめ直す。

他者との交流

- ・ 道徳的問題を見つける。
- ・ 他者と意見交流する。
- ・ それぞれの意見の中にある
判断基準を問い返す。

道徳科の授業



判断基準＝道德性の発達段階 〈コールバーグ〉

教員採用試験！

(1) 前慣習的水準 : 子どもは道德性の判断基準がない。身体的な力によって解釈。

① 罰と服従志向・・・**他人から罰**せられるかどうか基準

② 道德主義的相対主義・・・**自分の利益**を守ることができるかどうか基準

(2) 慣習的水準 : 外的環境に合わせて内部に判断基準が作られていく段階

③ 对人的同調・・・**他人から好かれる**かどうか基準となる。

④ 法と秩序の維持・・・**外部から与えられたルール**に合致しているかどうか基準となる。

(3) 後慣習的水準 : 個人の内部に判断基準が作られる段階

⑤ 社会契約的遵法・・・**合理的に決められたルール**かどうか判断基準となる。

⑥ 普遍的な倫理的基準・・・**普遍的な良心**に基づいているかが基準となる。

学生番号()名前()

ビデオを見て感じたこと、気づいたこと

- ・主体的対話的で深い学び
(教師と子ども、子どもと子どものかかわり) etc.

本当の幸せって何だろう？

幸せって何だろう。

「何不自由なく生活できる人は幸せ」と言う人がいる。

「昔の方が心が豊かで幸せだった」と言う人もいる。

「今の社会は、豊かな生活に慣れすぎて、大切なものを見失っている」と言う人も。

「そんなのぜい^ふい^せ沢^いな^な悩^なみだ」と言う人も。

今の私たちは幸せなのだろうか。

幸せの条件ってあるのだろうか。

本当の幸せって何だろう？



文部科学省
『みんなの道徳』

中学校 第三学年

【主題】

本当の幸せを考える

「内容項目

D-22

よりよく生きる喜び」

【ねらい】

人間には自らの弱さや醜さを克服する強さや気高さがあることを理解し、生きることにより喜びを見いだそうとする意欲と態度を育てる。

【教材】

「本当の幸せって何だろう？」

中学校道徳科授業



○下記のメルアドまで

koyamahi41@gmail.com

○本文には

- ・ 「学生番号・名前」
- ・ **「授業の感想文100文字程度」** (紙面で意見交流)

○必ず件名には

「実施時間・科目名」 を記入

(例) 1時間目 道徳指導法

2時間目 道徳指導法